

# 静かな夜と平和な空を返せ

## 横田・基地被害をなくす会 NEWS/No.56

## 横田基地公害訴訟原告団 NEWS/No.2

連絡先：〒196-0003 東京都昭島市松原町 4-10-24-100

E-mail：なくす会⇒ [yokota\\_nakusukai@yahoo.co.jp](mailto:yokota_nakusukai@yahoo.co.jp) 原告団⇒ [yokota9th@yahoo.co.jp](mailto:yokota9th@yahoo.co.jp)

Web サイト <http://yokota-nakusukai.sakura.ne.jp/>

発行：横田・基地被害をなくす会／横田基地公害訴訟原告団

※ NEWS は「横田・基地被害をなくす会」と「横田基地公害訴訟原告団」の合同発行です。

発行日：2023年2月16日

発行者：大沢豊／福本道夫

合同発行

この NEWS は、横田・基地被害をなくす会と横田基地公害訴訟原告団の合同発行です。

横田・基地被害をなくす会（以下「なくす会」と表記）は、「基地被害をなくすことを目標にした施策の立案、実施を通して、被害の軽減・解消を推進し、もって、民生の安定・住民福祉の向上と恒久平和の実現に期することを目的とする」組織で、横田基地公害訴訟原告団は、その目的実現のために起こす裁判を担う組織です。但し、なくす会の会員と横田基地公害訴訟原告は、別々の組織加入者です（両団体に加入している方もいます）。

そのため、会費や行動などは必ずしも一致するものではありませんが、目的が同じため、NEWS を「合同発行」としています。

なくす会と原告団の関係は、なくす会が中心になって上述の目的を達成するための一手段として裁判を目指し、原告団が結成され提訴したのちは、なくす会が原告団の支援組織として活動することになります。

# 1月20・21日、全国基地連の仲間が沖縄に集う

※「全国基地連・嘉手納普天間フィールドワーク、第6回総会」の写真提供：嘉手納原告団（p3も同様）



1月20日・21日、全国の基地訴訟を闘う全国基地連の仲間が沖縄に集い、各団体の活動の報告や、今後の方針について話し合いました。

前回総会から3年4か月が経過し、全国基地連に集う仲間は5万人を超えました。軍事基地による被害を訴える声はますます大きくなっています。

# 全国の基地被害の変化, コンター問題や PFAS 問題への対応も討議

私たち横田基地公害訴訟原告団は昨年10月新たな原告団を結成、嘉手納、新横田、小松・岩国原告団も昨年に新たな局面を迎えるなど、それぞれの原告団も重要な節目を迎えた2023年、コロナ禍などで延期されていた第6回総会が3年振りに開催、会場もPFAS水質汚染で揺れる沖縄で。フィールドワークや特別講演などを組み込み、内容濃厚な総会となりました。私たち原告団からは福本団長（全国基地連事務局長兼任）、青山副団長、棟棠事務局長の3名が参加、3つの分科会、総会をはじめ懇親交流会、フィールドワークなどを通して、多くのことを学び、情報交換と親睦を深めてきました。

初日の1月20日午後、プレ企画としての「嘉手納基地・普天間基地関連被害地フィールドワーク」を大型バスに乗り込みたっぷり行いました。普天間基地周辺ではオスプレイ部品の落下が相次いだ基地周辺を視察、緑が丘保育園や普天間第二小学校などを車窓から見ながら説明を聞き、PFAS汚染水・泡が流れ出た地域を通りPFASに汚染された国指定重要文化財の喜友名泉（ちゅんなーがー）には下車してじっくり説明を聞きました。昔は産湯として使った集落の聖地だった泉まで汚染されている現実を目の当たりにしました。広大な敷地を有する嘉手納飛行場。道の駅で基地の現実を垣間見、基地内消火訓練場からの汚染数値が高い大工廻川（だくじゃくがわ）、その水源地であり嘉手納基地が眺望できる浄水場と倉敷ダムを回りました。沖縄中部の浄水場は汚染され、北部（やんばる）からの配水で凌いでいる現実を知りました。多摩地域でのPFAS地下水汚染問題、厚木基地の汚染と並んで首都圏の基地公害として取り組む大きな教訓を得た気がしました。夜になり、ホテルパシフィックでの原告団・弁護団の懇親会で情報交換と交流が続きました。

21日は会場を沖縄県男女共同参画センター「ているる」に移し、午前中、原告団交流集会として前半は分科会、後半は講演会。分科会は①騒音コンター問題、②行政訴訟の内容と目的、③原告団運営につ

いての3分科会が設定され、私たち原告団はそれぞれに参加、報告と交流を行いました。講演会のテーマは「軍用飛行機の“うるささ”の画期的なLden再評価法：田村横浜国大名誉教授の厚木第五次訴訟意見書と証言から」。この問題は、各原告団が直面するコンター見直し問題での大きなカギを握る課題となりそうです。

午後は、全国基地連9団体から80余名が参加し第6回総会を開催しました。冒頭、この間に亡くなられた方たちを悼んで黙祷、続いて各原告団の活動報告を行い、議事に入りました。全国の軍事基地の状況について金子代表が報告、この3年間の活動報告・総括と今後の方針を福本事務局長が提案、予算案の提起は斎藤会計から。引き続き質疑応答に入りました。提案の最後は役員人事の提案でした。この間の各原告団の訴訟終結と新たな訴訟原告団の立ち上げにより役員の半分は新任となり、出身団体名も変わりました。総会の終わりには ①第6回総会決議 ②PFAS根絶のための特別決議が提案され、満場一致拍手で採択されました。

その後、特別記念講演が行われ、前日のフィールドワークと並んで2023年沖縄での総会開催のハイライトともなりました。爆音被害と並んで、現在の大きな基地由来の被害である課題、水源汚染。『PFAS（ピーファス）による水源汚染～米軍基地の環境汚染を追って～』講師は島袋夏子さん（ジャーナリスト：琉球朝日放送）。この問題は、現在の在日米軍基地と日本政府＝日米地位協定の酷い現実が地域住民の健康や命にかかわる問題にまで広がっている現状をあからさまに示しています。

※内容にまで詳細に記せませんでした。関心のある原告団・なくす会会員の皆さん、議案書と関係資料の少部数残っていますので、連絡をいただければ、可能な限り提供いたします。ご一報ください。

（原告団事務局長 棟棠浄）

# 写真で見る基地被害フィールドワーク・全国基地連総会



2004年普天間基地への墜落事故現場＝沖縄国際大学校舎と手前の事故モニュメント



落下物事故や高濃度のPFASが検出されるなどの現場＝普天間第三小学校・校庭と参加者



高台にある普天間基地の北側低地に位置し、キャンプファイターに囲まれた喜友名泉について説明する新垣普天間原告団・団長



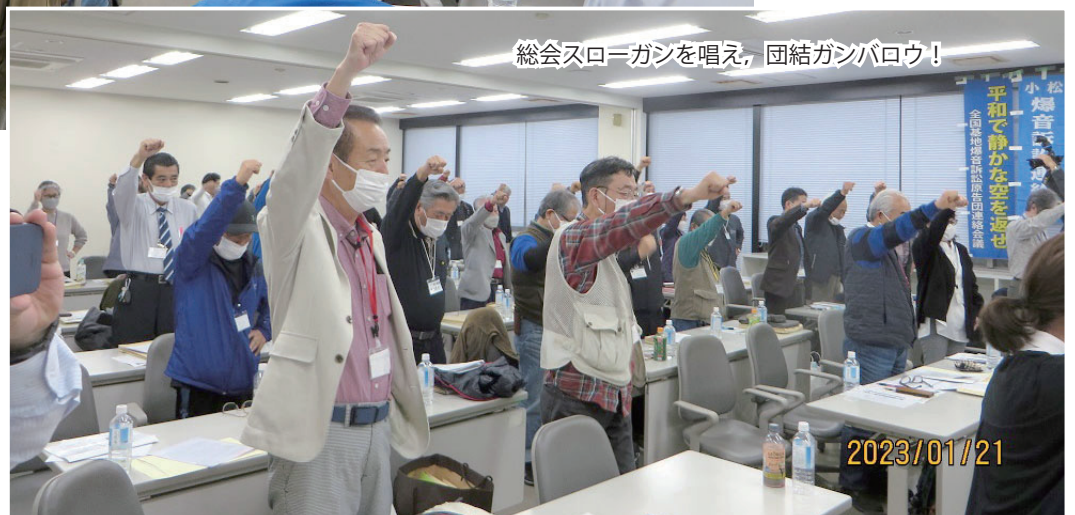
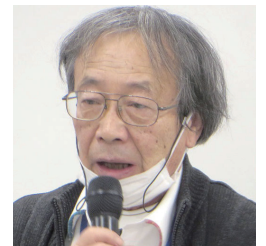
軍用飛行場コンター講師：福田弁護士（左）と関守弁護士（右）



横田公害原告団・福本団長（上）と棟棠事務局長（下）



新たに承認された全国基地連役員の皆さん



総会スローガンを唱え、団結ガンバロウ！

2023/01/21



PFAS問題講師：島袋夏子さん

# 陸自 V-22 立川基地に飛来～日米合意無視＝基地外をヘリモードで飛ぶ

写真提供：稲橋ゆみ子さん



オスプレイ横田配備反対連絡会・オスプレイリーフレット No5-2 より転載（一部加筆）。

2023年2月1日、木更津駐屯地所属のV-22オスプレイが陸自立川基地に訓練目的で飛来した。この際の飛行は、2012年に取り決めた日米合意（人口密集地を避ける、基地外でモード変換を行わないなど）を逸脱したものだ。また、防衛省が言うオスプレイに必要な滑走路長1500mより大幅に短い立川での訓練は危険極まりない。今後、毎月3～4回立川で訓練するというのが、横田のCV-22と併せて多摩地域住民の危険は増大するばかりだ。左の写真は、南の多摩川方向から立川市街を北上～左旋回して立川基地北側から立川飛行場に進入する際のV-22オスプレイ。明らかに基地の外でヘリモードに変換している。米軍との合意については、「米軍は日米合意を守るよう配慮している」と言い訳する防衛省だが…。(オスプレイリーフレット)

## 横田基地公害訴訟原告団、関連自治体を表敬訪問 —原告団結成と提訴を報告、今後の意見交換をも確認—

(昨年)10月23日の原告団結成、11月10日の提訴を終え、12月に順次関係自治体を訪れ、新たに244名の原告で提訴したことを報告、裁判闘争への協力と今後の情報交換・意見交換などを話し合いました。以前第9次原告団の時にも、最高裁判決の報告など節々で話し合いの場を持ってきましたが、今回は11年を経て、又も提訴せざるを得ない原告団・周辺住民の深刻かつ切実な状況に、自治体としてもぜひ協力していただきたい趣旨を強く主張してきました。

今回は、5市1町の「周辺自治体」に加え、訓練空域として騒音をまき散らしている、基地西、南側を加え10自治体を訪れました。訪問団は原告団役員を中心に地元原告団有志、支援自治体議員も加わってもらい、自治体ごとの課題についても意見交換しました。

12月6日の瑞穂町を皮切りに、19日：日野市・福生市・羽村市、20日：昭島市・青梅市・あきる野市 武蔵村山市、21日：立川市・八王子市、合計10自治体です。

訪問時には、訴状冊子、『オスプレイはどの空も飛ぶな（オスプレイ東日本連絡会作成：この間の政府交渉結果など）』パンフ、PFASパンフなどを持参、今回の提訴の主旨・要点を述べ、各自治体ごとに、騒音測定機の設置（あきる野市＝資料として航跡調査結果、昭島市＝航跡図と測定器設置場所変更・追加依頼）、PFASの土壌調査依頼・血中濃度検査依頼（基地地図にPFAS使用の消火訓練場示す地図）、立川市など（V-22飛来の危険性を訴える）…を要請してきました。併せて、一昨年判決報告の際に申し入れ・依頼してきたオスプレイ騒音「低周波測定器」寄付と共同活用についても、重ねて要請、今後とも住民の声、被害苦情などの情報を共有しながら、「定期的」に意見交換の場を持つことを強く要請しました。裁判の進行状況と合わせて、口頭弁論の状況と横田基地の状況・関連した地域住民の声を集めながら、訪問交流を続けていきますので、原告・「なくす会」会員の方々の声を寄せてください。

(原告団事務局長 棟棠 浄)

▶原告団名の口座と振替口座の開設手続きが終わりました。原告団の皆さんには、今回のNEWSに、赤い振替用紙を同封しました。今後は、この口座を会費振込などに使ってください。

# 弁護団・原告団役員紹介

原告団が結成され、裁判がスタートしました。この訴訟を担当する弁護士や原告団の役員について、何回かに分けて紹介します。今回は弁護団と原告団から1名ずつ。似顔絵は、原告の有賀成子さんにお願ひしました。

## 弁護団：佐竹俊之さん

(弁護団長)

① 1987年弁護士登録で西東京共同法律事務所に所属して現在に至ります。

訴訟の担当弁護士は、先の第9次横田基地公害訴訟の時から、当事務所の多くのメン

バーが集まり、弁護団を結成しました。今回の弁護団は、若手を中心に9名の弁護士で構成しており、事務所にいる年長の私が、弁護団長を仰せつかっている次第です。

②この訴訟では、今回は損害論（特に国の不作為の違法による損害賠償責任）を中心に担当し、米軍の違法な国内活動に対して日本国が対応していないという不作為を、裁判所に明確にさせようと考えているところです。

③オスプレイ騒音の新たな被害を横田という人口密集地に持ってくるなど、米軍の横暴さとそれを追隨するしかない国のいびつな構造に、光を当てたいと考えています。米軍機が必要なら自衛隊が独占している硫黄島をもっていけばいい話で、米軍人のために、住宅地に基地を維持し住民が被害を忍受しなければならない、という必然性はないのです。国の責任が明らかにされれば、次は差止めを認めない裁判所の責任も問わなければなりません。

そのためには、あきらめることなく声を上げ続け、被害を訴え続けなければなりません。権利は黙っていれば誰も認めてくれませんから。裁判へのご協力をお願いします。

## 原告団：青山秀雄さん

(原告団 副団長)

① 生年：1948年

② 横田基地訴訟との関わり

私が訴訟に関わることになったのは、職場での国鉄労働組合活動が原点にあったか

らだと回想しています。労働運動は職場闘争のみならず、反戦・平和・政治と幅広い活動があり、それらの活動を行う中で、敗戦後の憲法や民主主義が無視されている理不尽さ、米国に文句も言えない政府



にも腹立たしく思う気持ちが育っていきました。

職場は保線区という保守的な先輩たちの中の数少ない青年の1人であった私が、線路の保守作業現場で、度々軍用機の爆音で、電車や列車の進来で、線路から離れることを知らせる列車見張り員の警笛がかき消されたこと、そのことで列車に気付かず、触車の危険を避けるために、先輩が石を投げて知らせていました。

「死んだら大変だ。列車は大抵ダイヤ通りに来るが、横田の米軍機はいつ来るか全くわからない。気を付ける！」それが、後に横田基地飛行差止め訴訟団団長になった故浅野太三さんでした。(編注：「横田基地飛行差止め訴訟」は1994年～2009年)

八高線の上川原町の新橋踏切を廃止する理由に、この踏切で小学校の男子児童が米軍機の爆音で八高線の進来に気付かず、自転車で踏切に入り触車死亡した話を聞かされたこと、結婚後、幼少の子が踏切直近の拝島駅構内の国鉄宿舎で外遊び中に爆音に驚き「こわい」と突然泣き出したことなどが記憶に残っています。

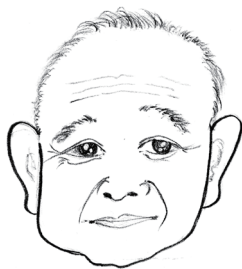
それまでは労働運動が中心だったため、隣接し横田の被害を受け続けながらも、横田基地訴訟にまで至りませんでした。停年を控えた浅野さんに「青山よ、訴訟団に入って一緒にやらないか」の一声をかけられたことがきっかけで、遅ればせながらの入団でした。活動する中で、故福本龍蔵さんの「子や孫に美田は残さずとも住みよい環境を残して…」の発言や、立ち上げ時の福本さんの歩みを知り、訴訟団に加入して闘っていこうと強く決意したこと、その延長が今日だと思っています。

## ③ 訴訟にかける想い

オスプレイの強行配備による低周波、墜落の危険、合意事項は守らない、年々増加する被害…。黙っていればもっとひどくなる。飛行差止めについて門前払いを繰り返す裁判所、被害者の痛みなど何一つ理解しない国や裁判官…。

それでも、今回の裁判で、今度こそ私たちの「せめて静かな夜を返せ」を勝ち取りたい。

また、この訴訟の先輩たちの意思をしっかりと次に繋ぐためにも老体にムチ打って闘っていく決意です。



# 経過報告と今後の予定 (2022年9月1日～)

## ☆☆☆☆☆☆ 経過報告 ☆☆☆☆☆☆☆

< 2022年 >

- \* 9/1 オスプレイ連絡会・横田防衛事務所要請
- \* 9/1 オスプレイ反対基地前 Standing
- \* 9/1 役員会議+訴訟準備会
- \* 9/3 オスプレイ反対署名
- \* 9/9 オスプレイ連絡会・役員会議
- \* 9/10 訴訟説明会 (瑞穂武蔵野CC)
- \* 9/11 訴訟説明会 (瑞穂武蔵野CC)
- \* 9/13 弁護士+原告団会議
- \* 9/17 訴訟説明会 (立川・西砂会館)
- \* 9/18 訴訟説明会 (昭島・公民館)
- \* 9/22 全国基地連事務局長オンライン会議
- \* 9/30 全国基地連事務局長オンライン会議
- \* 9/23 訴訟説明会 (昭島・公民館)
- \* 9/24 訴訟説明会 (日野・旭が丘地区C)
- \* 9/25 訴訟説明会 (日野・旭が丘地区Cなど)
- \* 9/29 弁護士基地案内
- \* 10/1 オスプレイ反対基地前 Standing
- \* 10/4 東日本連絡会オンライン会議
- \* 10/6 なくす会+訴訟準備会役員会議
- \* 10/8 反核平和の火リレー出発式・支援
- \* 10/12 原告団結成総会議案書, 訴訟委任協定, 原告団 NEWS 号外等発送
- \* 10/15 東日本連絡会・オスプレイ問題報告集会
- \* 10/19 弁護士+原告団会議
- \* 10/21 10.21 集会
- \* 10/22 10/23 総会用メッセージ集印刷
- \* 10/23 原告団結成総会
- \* 10/24 新横田原告団との情報連絡会
- \* 10/27 横田基地問題を考える会昭島市情報交換会出席
- \* 11/1 オスプレイ反対基地前 Standing
- \* 11/4 なくす会+原告団役員会議
- \* 11/5 オスプレイ署名 in 立川駅
- \* 11/8 横田基地訴訟・記者レクチャー
- \* 11/10 地裁提訴事前集会～提訴, 報告集会, 記者会見
- \* 11/17 オスプレイ連絡会
- \* 11/24 全国基地連事務局長会議
- \* 11/25 PFAS 問題・沖縄上京団政府ヒアリング
- \* 11/26 小松原告団解団式
- \* 11/28 全国基地連事務局長会議
- \* 11/28 オスプレイ東日本連絡会オンライン会議
- \* 12/1 オスプレイ反対基地前 Standing
- \* 12/1 なくす会+原告団役員会議

- \* 12/5 東京平和運動センターに要請と報告
- \* 12/6 周辺自治体訪問 (瑞穂)
- \* 12/7 原告団 NEWS・オスプレイ冊子・訴状送付
- \* 12/7 三多摩平和運動センターに要請と報告
- \* 12/10 オスプレイ署名 in 昭島駅
- \* 12/19 周辺自治体訪問 (日野, 福生, 羽村)
- \* 12/20 周辺自治体訪問 (昭島, 青梅, あきる野, 武蔵村山)
- \* 12/20 オスプレイ東日本連絡会作業委
- \* 12/21 周辺自治体訪問 (立川, 八王子)
- \* 12/21 第3次新横田2次提訴= 166名追加
- \* 12/23 全労協東京・幹事会に報告と要請
- \* 12/26 岩国第2次訴訟提訴= 436名

< 2023年 >

- \* 1/1 オスプレイ反対基地前 Standing
- \* 1/5 なくす会+原告団役員会議
- \* 1/20 全国基地連・嘉手納普天間フィールドワーク
- \* 1/21 全国基地連第6回総会 in 沖縄
- \* 1/25・27・2/8 事務所複合機スキャナ操作説明
- \* 1/26 第3次新横田訴訟第1回弁論支援
- \* 1/28 オスプレイ署名行動 in 立川
- \* 1/28 立川自衛隊にV-22 飛来・訓練反対申入れ
- \* 1/30 オスプレイ連絡会
- \* 2/1 オスプレイ反対基地前 Standing
- \* 2/1 V-22 立川基地飛来反対行動
- \* 2/2 なくす会+原告団役員会議
- \* 2/3 基地案内 (ジャーナリスト2名)
- \* 2/7 全国基地連 ZOOM 会議
- \* 2/16 NEWS 印刷～発送

## ☆☆☆☆☆☆ 今後の予定 ☆☆☆☆☆☆☆

- \* 2/16 オスプレイ東日本連絡会 ZOOM 会議
- \* 2/22 第3次新横田原告団と情報連絡会
- \* 2/25 騒音計取り扱い学習会
- \* 2/26 オスプレイ署名行動 in 立川駅北口
- \* 3/1 オスプレイ反対基地前 Standing
- \* 3/2 なくす会+原告団役員会議
- \* 3/8 オスプレイ東日本連絡会政府交渉
- \* 3/10 オスプレイ連絡会
- \* 3月中旬～下旬頃 全国基地連政府交渉
- \* 3/25 立証方法学習会 (記録法等)
- \* 3/27 横田訴訟第1回進行協議 (立川地裁)
- \* 4/1 オスプレイ反対基地前 Standing
- \* 4/6 なくす会+原告団役員会議
- \* 4月末～5月 オスプレイ連絡会・政府交渉
- \* 5/1 オスプレイ反対基地前 Standing

# 横田基地に関する情報 2022年8月～

※確認できたデータのみ。未確認部分あり。

主に「YOKOTAJOHOのブログ」を参考にした。

## オスプレイ飛行日 (○数字は稼働した機数) ……………

8/1 ③, 8/3 ②, 8/5 ②, 8/8 ②, 8/10 ①, 8/12, 8/16,  
9/3, 9/4 ①, 9/7 ①, 9/8 ①, 9/9 ①, 9/12 ②, 9/13 ①,  
9/19 ②, 9/20 ①, 9/23 ②, 9/27 ②, 10/1 ②, 10/2 ②,  
10/4 ②, 10/5 ①, 10/6 ②, 10/11 ②, 10/13 ②, 10/14 ②,  
10/18 ②, 10/19 ①, 10/20 ③, 10/23 ②, 10/27 ①, 11/1 ②,  
11/3 ①, 11/4 ④ (キーンソード参加か), 11/19 ④ (帰投),  
11/28 ②, 11/30 ①, 12/5 ②, 12/7 ①, 12/9 ②, 12/12  
②, 12/14 ②, 12/16 ②, 12/18 ①, 1/5 ②, 1/9 ③, 1/12  
①, 1/13 ②, 1/17 ③, 1/18, 1/19, 1/20 ①, 1/23 ③,  
1/31 ②, 2/1 ②, 2/3 ①

※ 8/17～CV-22 クラッチ不具合で全機飛行停止

※ 9/2 地上待機措置解除

※ 10/20: 横田を 21:41 離陸の CV22 ①機が南紀白浜空  
港に 22:45 緊急着陸～翌日 6 時頃離陸～沖縄へ～ 10/24  
横田に帰投。

※ 2/4～V-22 オスプレイのクラッチ不具合解決のために  
部品交換までの間飛行停止

## 外来機訓練日 ( ( ) 内は機種) ……………

※代表的な機種…P8 = 対潜哨戒機, KC130・KC135 =  
空中給油機, MC130 = 特殊戦機, UC12 = 軽輸送機,  
UH60・MH60 = 汎用ヘリコプター

※訓練内容: タッチ&ゴー, ローパスなど

8/8 (P8), 8/10 (P8, KC130), 8/11 (P8, UH60), 8/14  
(P8), 8/15 (UH60), 8/16 (UH60, KC130), 8/20 (P8),  
8/23 (P8, MH60), 8/24 (UC12F), 8/25 (KC130) 8/29 (P8),  
8/30 (MH60), 8/31 (KC130, P8), 9月: P8 や KC130  
の訓練飛行が目立った。

10/6 (MH60), 10/11 (KC130・MH60), 10/12 (UC12・  
MC130), 10/14 (CL60), 10/18 (UC12・MH60), 10/19  
(UH60), 10/23 (P8), 10/25 (UC12), 10/26 (MH60・  
T4), 11/1 (P8), 11/2 (KC130・MC130・P8), 11/4 (MC130・  
KC130) 11/1 (P8), 11/2 (MC130・KC130・P8), 11/3

(MC130・UC12・KC130), 11/4 (KC130), 11/6 (P8),  
11/13 (C130J: 米本土), 11/16 (C130J: 米本土・UC12)  
, 11/23 (UC12), 11/28 (UC12) 12/1 (P8), 12/8 (UH60L),  
12/13 (E2D・UH60L), 12/14 (MH60S), 12/21 (UC12F),  
12/23 (P8), 1/4 (UH60L) 1/5 (UC12F) 1/6 (P8), 1/8  
(KC130J), 1/9 (KC130J・空自 CH47J), 1/17 (UC35A・  
KC130), 1/18 (MH30・P8), 1/24 (MH60), 1/25 (KC130  
J)・MH60, 1/30 (UH60), 1/31 (KC130J), 1/31 (C130J:  
②米本土), 2/1 (P8・KC130J), 2/3 (P8), 2/8 (NH60R・  
MH60R), 2/9 (MH60S・MH60R), 2/14 (空自 U4)

## 戦闘機飛来 (○数字は機数) ……………

11/4F35B ②着, 11/5F35B ②離着, 11/6F35B 離,  
11/30F35B ④, 12/1F35B ④着, F16 離着①, 12/5F16  
離, 1/8F/A18 ③アレスティングケーブルチェック・離,  
1/11F/A18 ②, 1/24・25 F16 ② (ドイツ)

## 横田基地所属機と関連のある主な訓練, 事故など……………

※ 8/28～9/6 104 号線越え実弾射撃訓練 (参加兵士を乗  
せたハワイアン航空が横田を利用)

※ 9/10: 嘉手納基地所属の KC-135 が横田基地に緊急着陸  
…B-1 爆撃機と空中給油時の事故で, 給油パイプ約 10  
m を機体後部から出したまま着陸

※ 11/8-10 習志野で横田空軍機から陸第 1 時空挺団が降下  
訓練

※ 11/10～11/19 日米共同統合演習 (自衛隊施設, 在日米  
軍施設, 奄美大島など) に CV22 ④機参加。

※ 11/30～クリスマスドロップ訓練 ( Gum, パラオ, ミ  
クロネシア諸島) に横田の C-130J 数機参加

※ 11/23 (水) 米基地関係車, タクシーと接触事故。米軍  
関係者からアルコール検出。

※横田基地内での工事…中東部: CV-22 隊用施設, 南東部:  
23,500㎡の駐機場 (C17 ④機, C130 ⑤機スペースなど),  
南西部: ジェット燃料の受領・分配施設の拡張, 大型燃  
料タンクの建設

▶ 10/14MV-22 カリフォルニア州・ミラマー海兵隊基地で  
エンジン火災 (クラス A 事故): 負傷者なし。

## 「うるさい!」と思ったら…

各自治体には, 苦情としてお伝え  
ください。件数が記録されます。

### 抗議先一覽

横田基地: 042-552-2511  
航空自衛隊横田基地: 042-553-6611  
防衛省北関東防衛局: 048-600-1800  
防衛省横田防衛事務所: 042-551-0319  
外務省: 03-3580-3311  
東京都庁: 03-5321-1111  
瑞穂町役場: 042-557-0501  
羽村市役所: 042-555-1111  
福生市役所: 042-551-1511

昭島市役所: 042-544-5111  
立川市役所: 042-523-2111  
武蔵村山市役所: 042-565-1111  
日野市役所: 042-585-1111  
八王子市役所: 042-626-3111  
あきる野市役所: 042-558-1111  
青梅市役所: 0428-22-1111  
入間市役所: 04-2964-1111  
飯能市役所: 042-973-2111

# 今後の主な予定

- \* 2/25 (土) 18 時～騒音計取り  
扱い学習会 (昭島市公民館 3 階  
会議室) 参加希望者は要事前連絡。  
(090-1468-4211 棟棠テイトウ)
- \* 2/26 (日) オスプレイ署名行動…  
立川駅北口デッキ 13 時～14 時
- \* 3/25 立証方法学習会一メモ, 写真,  
ネットを使った航跡調査など  
(昭島市公民館 3 階会議室) 参加

希望者は要事前連絡。

(090-1468-4211 棟棠テイトウ)

- \* 3/1 オスプレイ反対 Standing  
11 時～12 時…横田基地第 2 ゲー  
ト前 (福生駅東口下車～基地に向か  
って徒歩約 10 分)
  - \* 4/1 オスプレイ反対 Standing  
…3/1 と同様
  - \* 5/1 オスプレイ反対 Standing  
…3/1 と同様。
- ▶原告追加募集…4月～5月に予定。  
事前の受付も行います。

## NEWS 内容 (目次 = CONTENTS)

全国基地連の仲間が沖縄に集う……………	1
全国基地連第 6 回総会報告……………	2
写真で見る全国基地連総会報告……………	3
V-22 立川基地に飛来……………	4
原告団, 基地周辺自治体を表敬訪問……………	4

弁護団・原告団役員紹介……………	5
経過報告と今後の予定……………	6
横田基地に関する情報……………	7
うるさいと思ったら……………	7
今後の主な予定……………	8
目次, 天欄……………	8

## 天欄

2月1日、立川基地にオスプレイが初飛来。自衛隊立川基地正門前には、横田・立川両基地の反基地市民団体、憲法の会や女性の団体、個人、そして久しぶりに労働団体の人々も含めて100名近くが集まり、申し入れを行い、「オスプレイ立川飛来反対!」のシュプレヒコールをあげた。

立川基地の滑走路の長さは横田基地の滑走路の半分以下、オーバーランを含めて1200mである。60年以上前に起こった「砂川闘争」の成果だ。砂川町をあげて闘われた闘いは全国に飛火し、朝鮮戦争の時代の反基地闘争の中心的な役割を果たした。

筆者は立川の南で生まれ、米軍占領下の町で育った。父の母は砂川の生まれである。基地の街の喧騒に妨げられて、受験勉強は深夜に起きて早朝まで。朝鮮の戦場からフラフラと揺れながら帰ってくるB29の姿を正面に見ながら、朝を迎えることが多かった。米軍占領下の立川の井戸が汚染され、深く掘り下げる作業をしていた住民が「井戸の中で焼死する」事件なども起こった。「子どもを守る会」の一員だった母が、自宅の井戸水をビンに詰めて国会にでかけ、委員会の席で火をつけて見せたこともある。その歴史が今も繰り返されている。

遠いウクライナ、ヨーロッパの戦場で起こっている戦争を想像することは難しい。横田基地がこの戦争にどうからんでいるのかを知ることも難しい。出入りする米兵、ゲートの中の様子から戦場と繋がっている軍事基地、そこで生きている兵隊たちを「感じ」ようとする。ピラを持って、通りすぎる米兵に手渡すことを試みる。ゲート前行動を規制するために出動している日本の警官たちに、その「想像」を受け売りしたい気持ちになる。「いや自分の想像を深めることこそ大事だ」と反省することも多い。

年頭に「運転免許」を返上した。「返上年齢としては十分だ」と思うのだが、さて行動の自由がかなり制限される。「苦勞して行く、それだけの思い入れを行動に込めると考えることにする。自転車で行ける範囲は?と考えると、立川の南から北端の砂川あたりまでかな? 自動車に便乗、自転車→電車→徒歩の行き方もある。「雨の日、寒い日、風の日」など心配していてもきりが無い。心と体、そして「便乗」の許す範囲で通いつづけよう。(K)

私が横田基地南の昭島市に住んで70年になる。はじめの5年は基地直近の都営住宅で、浅い井戸の水を飲んでた。その後もずっと昭島の水のお世話になってきた。PFASや漏出燃料の影響は血中にあるのか。(F)